

# 津山市地域公共交通の活性化及び再生に関する協議会

平成21年3月26日設置  
平成22年3月25日連携計画策定



## 概要

今後の厳しい財政環境下でも維持・継続できる公共交通体系とすることを目的として、効率的な再編をし、わかりやすい体系とすること、また、利便性を向上させることで利用を促進することを目指すもの。

### ○拠点連絡バスの折返し運行による増便、結節点停留所の整備、中心市街地の小ループバスの新設

合併前の拠点を連絡する支所間バスを郊外の病院・商業施設での折返し運行として走行距離を短縮し増便し、中心部への直接乗入を廃止・結節点での市内循環バスへの連絡とし重複運行を解消する

高齢化また衰退の進む中心市街地に低床ループバスを導入し、高齢者の通院・買物の手段を確保し、中心市街地の活性化を図る

### 中心市街地低床ループバス



### 結節点停留所



### ○福祉バスの有料化・地域の実情に応じた運行、直営バスの民間運行・スクールバスの活用

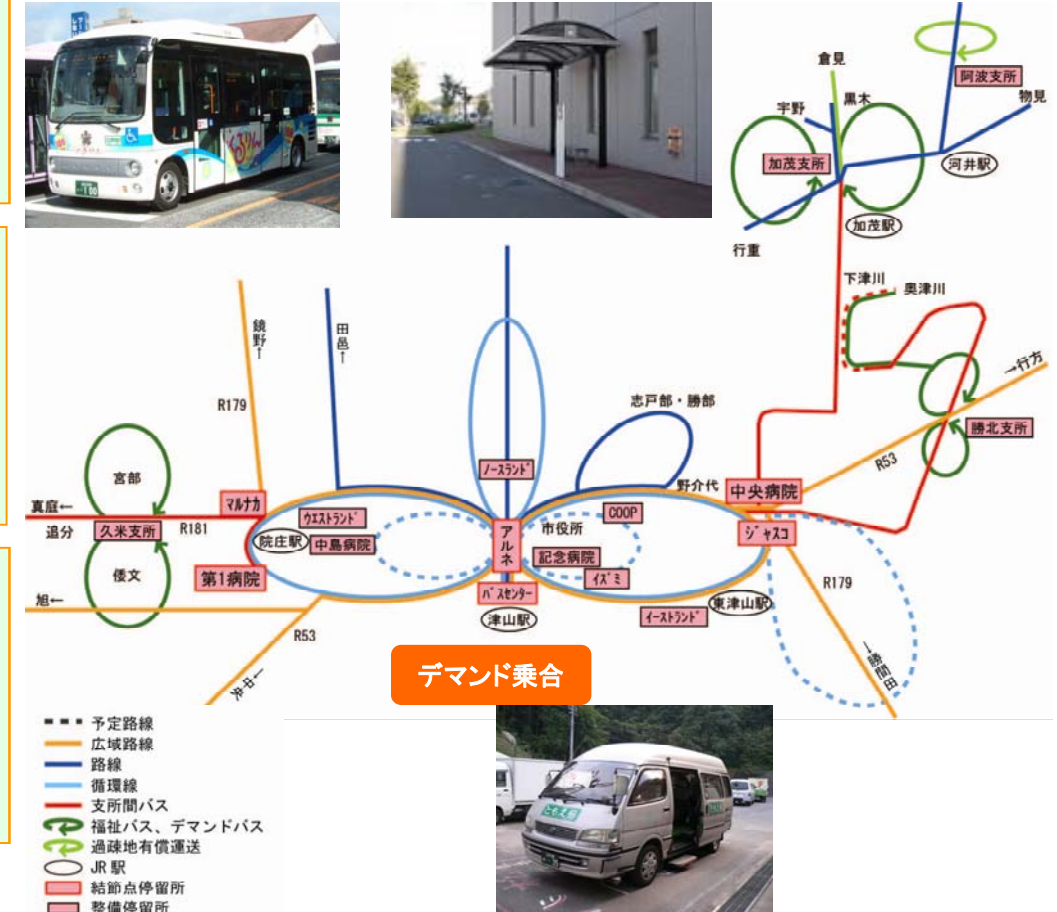
公共交通の利用は10人に1人という実態・交通空白地帯の存在を踏まえ無料の福祉バスを有料化とし、利用の低い地域についてはデマンド乗合方式等を検討する

1路線のみの運行で非効率となっている直営バスを民間運行とし、スクールバスとの重複を解消して効率化を図る

### ○交通空白地帯のデマンド乗合、バスサポーター制度の創設

供給過剰となっているタクシー業界の協力を得て、交通空白地帯となっている周辺地域にデマンド乗合方式を導入し、既存のJR・バスへの連絡を検討する

老後の移動手段の不安から、10人に1人の利用しかない公共交通機関の存続を懸念する市民の理解を得て、実際には公共交通を利用しない市民の公共交通サポートを募る



### デマンド乗合

